

Amir Tsarfati 氏 中東情勢アップデート 2017年 11月 11日公開

.....
イスラエルのガリラヤより、シャローム。そしてこんばんは。アミールです。

ここ数日、頻繁にアップデートをしています。これまでに経験したことがなかったのではないかと思えるほどの時期を、中東が過ごしているからです。前代未聞の危機です。イスラエル・パレスチナ問題よりもはるかに大きく、レバノン問題よりもはるかに大きく、シリア問題よりもはるかに大きい。現在起こっているのは、中東全域での危機中の危機です。これが非常に重要な理由は、ロシアが初めて地上で直接介入し、それがこれら全ての「触媒」の一つとなり得るからです。そこで、短くアップデートをしたいと思います。過去、そうですね…12時間以内に起こった事です。

まず、ほんの数時間前、まだ一日も経っていませんが、現在工事中のイランの軍事基地の衛星写真が公開されました。イスラエル国境から 35 マイル (56 km) ほどの場所、ダマスカスの郊外です。これは、シリアの小さな軍事基地だった所で、現在イランが拡張し、どんどん建設中です。良いニュースは、ここにはまだ人がいなかったことですが、悪いニュースは、一旦完成すればイランは兵士を送り込み、活動します。そうすると勿論、イスラエルの主権を試すことになります。何故ならイスラエルは、何度も何度も繰り返し言っていますが、イランが国境からあれほど近くに駐留することを認めません。彼らがシリアに落ち着き、イスラエルの近くに前線基地を創ることは、我々が容認しません。これが起こった事の一つです。

2つ目は、今朝起こりました。無人の飛行物体、ドローンが——全く武器は搭載されておらず、武装されていなかったのが偵察用でしょう——それがシリアのゴラン高原からイスラエルに向かって、真っ直ぐに飛んで来たのです。そして面白いのが、我々は、これはロシアのドローンであると探知しました。数か月前、一年以上前だったと思いますが、わたしが言ったことを覚えていますか？ロシアが、我々から購入した、イスラエル製のドローンを送って来たのです。だから我々は、探知に失敗しました。あれが一年以上前でした。あの時、彼らは「水を試して」いたのだと私は思っています。そのため、イスラエルはどう報復すべきか、決めかねたのです。しかし今回は、これはロシアのドローンだ、と我々は直ちに察知し、すぐにシリア国内のロシア軍駐留に連絡を取って、ドローンを作動しているか聞きました。言うまでもなく、これはロシアのドローンで、ロシア軍が操作しているものです。我々は迎撃することに慎重になり、彼らに向きを変えて戻るように伝えました。しかしロシアは、これが彼らの操作しているドローンであると認める選択肢を拒絶しました。すなわち、これはロシアが、シリア軍かもしくは間接的にヒズボラの手を提供したドローンだということです。私たちはシリア軍の可能性もあり得ると思っていますが、現実問題、もしイスラエルに向けて飛ばされたとなると、シリア軍にはそれをする理由が全くないのです。これはヒズボラが、国境付近の詐欺師たちを攪拌するために送っている以外の何のものでもありません。

ということで、2つの事です。この数日間に行った2回のアップデートを覚えているでしょうか。その中で、私は言いました。

「中東での、イランとサウジアラビアの間の危機がいずれ、イスラエルに向かってやって来る。それは時間の問題で、現在起こっている事、サウジとイランとの間の緊張、北朝鮮とアメリカとの間の緊張はカモフラージュでしかない。」

ロシアは文字通り、イランにやりたい放題させています。そしてイランは、やりたい放題しています。とても興味深いのは、ヒズボラの指導者ハッサン・ナスラッラーは昨日、演説で声明を発表し、次のように述べました。

「自分は何十億ドルと引き換えに情報を持っている。つまり、イスラエルがレバノンを攻撃することを、約束したか、もしくはサウジアラビア政府が頼んだのだ」

と。

違います。

それに関して明確にしておきましょう。

イスラエルはサウジ政権に、レバノン攻撃について話していません。これまで一度もしたことがありません。もし我々が、軍諜報レベルでサウジと何か話すとすれば、イラン攻撃であって、レバノンではありません。何年も前にもありました。我々がイランの核施設を攻撃する際に、途中でサウジの空軍基地を我々が使用することを、彼らが許可しました。イランの核計画を破壊するため、イスラエルの飛行機がアラビア半島を渡るのを阻止したのは、バラク・オバマです。ですから、我々がサウジと攻撃について話すとすれば、それはイラン攻撃であって、レバノンではありません。ともかく、今回起こった事はとても単純です。中東では、指導者が声明を発表した時は、全体像を見なければなりません。彼らの口から出る言葉は、一切信用してはいけません。彼らは、地と、社会の意見、世界のメディアを、彼らの次のステップに備えさせるのです。ヒズボラの指導者が、世界に向かって言いました。

「イスラエルは、レバノンを攻撃するように、サウジから持ちかけられた。」

彼が言っているのは、実際にはこうです。

「仮に、イスラエルが我々を攻撃したら、それはサウジの要請であった事を皆さん知っておいてください。」

次に、一体全体、イスラエルがレバノンを攻撃するとすれば、その理由は何でしょう。それはヒズボラの活動です。つまりヒズボラは現在、保険を買っているのです。イスラエルに攻撃するよう唆したり押ししたりしているのはサウジだとか、これらの主張を申し立ててヒズボラがしていることは、基本的に彼らが展開できる分野での可能性を創り出しているのです。今では、我々がサウジの手伝いをしているかのように言って、非難されないように、イスラエルは攻撃する前に5回は考えなければならない事を、彼らは知っています。このように、嘘に嘘の上塗りです。ちなみにこれは「Taquiya」といって、とても一般的なムスリムの手段で、「ムスリムを促進するなら、世界を欺け」というものです。欺きは許され、ムスリムの計画を推進するなら、嘘は嘘ではない、ということ。ですから、ハッサン・ナスラッラーは全世界を欺いています。そして興味深いことに、世界はいつもその嘘を信じるのです。ことイスラエルの事になると、世界はいつも反対側の意見を信じます。

これがこの12時間以内に起こった出来事です。繰り返しますが、1つはイスラエル国境から35マイルの場所ダマスカスのはずれに、イランが建設している軍事基地を、我々が探知。2つ目は、ロシア製の

ドローンが今日、イスラエルのパトリオットミサイルによって迎撃されました。そしてその残骸が、基本的にはシリアの領土に落下しました。しかしそれはイスラエルに向けて飛んで来たため、我々はそれを行う必要がありました。その間に、我々はロシアに、これはそちらのものかと尋ねましたが、ロシアはそれは自分たちのものではない、と言いました。ロシアが嘘を言っているのか、そうでないかは私たちには分かりません。ドローンは既に撃墜されていますから。一つ確かなのはそれがロシアのドローンだということです。彼らも認めましたし、私たちは知っています。そこで問題は一体誰がそれを使用したのか？ロシア自身がそれをしていたとしても、私は全く驚きませんが、彼らは否定しています。実は一年以上前、彼らは失敗しているのです。それは何年も前にロシアが購入したイスラエル製のドローンでした。だから私たちはとても混乱したのです。なぜ、イスラエル製のドローンがシリア側からこっちに向かって飛んでくるのか、と。しかし今回は、ロシア製のドローンです。我々はその外見を知っていますから、今朝、それを迎撃したのです。私はエズレル平野とハルマゲドンの谷の空軍基地の近くに住んでいて、今日は午前中の間、F-16がわたしの家のすぐ隣の基地から離陸する音がずっと聞こえていたのです。だから「何かが起こっている」と分かりました。今日は土曜日の安息日です。安息日に我々は演習はしませんから。安息日に離陸音が聞こえたら、もしくは平日の午前3時なら、何かがあった、何かが起こっているはずなのです。だから数分前にロシアのドローンを迎撃した、と情報元からメールを受け取ったときにも、私は驚きませんでした。

ということで、ロシアのドローンが迎撃され、イランの軍収容所が建設中。我々は前進中です。これはかなり興味深いです。我々は、終わりを知っているのですから。我々は、初めから終わりを知っています。多くの人から、恐れているとか、心配だというメールを受け取りますが、面白いと思いませんか？私たちはこれから何が起こるのかをはっきりと知っているのです。それが現在起こっています。そして、私たちの励みといえば、この先何が起こるかを知っていることです。私たちがこの世で起こっていることの知識を持っているだけでなく、私たちが、我々に何が起こるのかも知っています。キリストを信じる者、主を救い主として受け入れ、罪を悔い改め、新しいいのちを信じる者には、祝福された希望があるのです。その人たちにとっては、起こっていることの全ては——事は起こっています。事は起こっていて、しかもすごい速さで起こっています。その全てが、私たちにとっては美しい。一つに、神が支配されていることが、私たちには分かりますから。神は全てをご存知なのです。面白くないですか？イランやロシア、サウジの指導者たちは、今日、自分たちがこの状況に陥っているなんて、5年前には全く知りませんでした。しかし、エゼキエルは、彼らが今日、この状況に陥ることを知っていました。エゼキエルは2,800年前に生きていた人、そして彼らは現在生きています。しかし、今日の彼ら自身よりも、エゼキエルの方がよく知っていたのです。そしてすごいのは、私たちには諜報議定書や諜報機関の報告書などは与えられないでしょう。しかし我々には、はるかに素晴らしい諜報報告書があるのです。それは、この書。聖書です。この書の中には、素晴らしい情報源があります。それは濾過されることなく、神が、聖霊を通して直接語られました。また、神の聖徒達は、第二ペテロ1:20~21にある通り、人の私的解釈を施してはならないことを知っていたのです。だからこれは、神が、預言者のような神の人々を使って、神の民に宛てた直接の伝達であり、神の民である私たちに、時代と季節を理解させ、それから、私たちに周りを見回し、悔い改めの機会を与え、生き方を変え、備えをし、御父の仕事に勤しみながら、待つようにするためです。聖書が伝えているように、我慢強く忍耐をもって、競争を走り抜くのです。

この世のものを見るのではなく、信仰の創始者であり、完成者であるイエスを見るのです。それが何よりも大切です。

それから、今回のアップデートの終わりに、私の個人的な報告をして終わりたいと思います。個人的だと思のですが…これらの敵は、イスラエルを破滅させようとしています。実際、イランやヒズボラ、イランの手先全員がホロコースト（ナチスによるユダヤ人大虐殺）すら否定しています。ユダヤ人が、ナチスとその協力者によって大虐殺された事など一度もない、と否定しています。ホロコーストは起こりましたが、彼らは絶対に起こってはいないと言います。そして彼らは、我々を滅ぼそうとしているのです。ただ、先ほど言った通り、私たちは終わりをはっきりと知っています。イスラエルは生き残るだけでなく、全イスラエルは最終的に救われます。イランに関しては、イスラエルの山々で屈辱を受けます。ロシアに関しても、イスラエルの山々で屈辱を受け、敗北します。なぜ私がこんなことを言っているかといえば、我々を滅ぼそうとするこれらの試みを目撃して、それから私たちに向けられる口撃、我々には存在する権利もない、とか、革命防衛隊の指導者は、つい先日、テレビのインタビューで言いました。

「シオン主義の存在は、この先20年も続かない。」

言い換えれば、彼らは実に、ファンタジーの中に生きています。我々が滅ぼされる側だ、と。私の娘は今、学校の修学旅行でポーランドに行っています。ポーランド国内でナチスが建てた強制収容所と、絶滅収容所があるところです。娘は、既にいくつか訪れていて、その一つのマイダネクには、ユダヤ人被害者の灰が巨大に積まれた、背筋の凍るような記念碑があります。そこから娘が動画を送って来たのですが、その中で、他のイスラエル人の団体とそこで止まって、イスラエル国歌「HATIKVAH」（希望）を歌っているのです。その時思ったのは、イスラエルは、希望の国歌を歌い、今ではホロコースト生存者の2世、3世が訪れている。それも、敗者としてでなく、かつてなかった程に最強で、我々の周りで起こっている非常に多くの戦争や、破滅のただ中にあっても、繁栄している独立国家として、です。しかし、思ったのは、我々は「HATIKVAH」（希望）を歌います。私たちの国歌です。それなら、私たち信者は、毎日どれほど讚美歌を歌うべきでしょうか。どの讚美歌であれ、我々の祝福された希望を思い出させるものを。破滅のただ中にあって、私たちの希望、イスラエルを絶滅させようという企みのただ中にあっての希望です。私たちには、希望があることを忘れてはなりません。私は、個人的には二重に祝福されていると思っています。私はイスラエル人であり、ユダヤ人であり、そしてクリスチャンですから。私は、私の民の希望を見、そして、私の信者としての希望を見えています。しかし、ユダヤ人であろうと、異邦人であろうと、私たち全員にはイエスを信頼すれば、更に素晴らしい希望があるのです。どうして、それがイスラエルよりもさらに素晴らしい希望なのか？それは、私たちの希望は、現在起こっている出来事が基になっていないからです。私たちには、差し迫る携拳の約束があるのです。これまでに起こった事のないような、大惨事がユダヤ人を襲う前に、私たちがここから連れ去られるという約束です。もちろん、私たちはその大惨事から逃れます。彼らは、その大惨事を通して最終的に悔い改め、救われますが、私たちにはそこを通る必要すらないのです。それこそが、私たちの持っている美しい希望だと思います。

イランについてお話して、ロシアについてもお話ししました。中東で起こっている事、全てについてお話

しました。しかし、私たちには希望があります。取り去る事の出来ない希望です。皆さん全員を励ましたいと思います。聖書には、パウロがギリシャのテサロニケの人々に書いた手紙の中にあります。教会の携挙について、彼はここに一番詳しく書いているのではないのでしょうか。これは、パウロに明かされた奥義です。イエスも何度か携挙について語られましたが、携挙についての本当の理解、その奥義に関して、真の啓示はパウロに与えられました。彼はそれを第一コリント 15 章だけでなく、第一テサロニケ 4 章にも書いています。その中で彼はこう伝えています。

13 眠った人々のことについては、兄弟たち、あなたがたに知らないでいてもらいたくありません。あなたがたが他の望みのない人々のように悲しみに沈むことのないためです。

14 私たちはイエスが死んで復活されたことを信じています。それならば、神はまたそのように、イエスにあって眠った人々をイエスといっしょに連れて来られるはずです。

(第一テサロニケ 4:13~14)

ここ、見てください。こう書いてあります。

「他の望みのない人々のように悲しむな」

たとえあなたが信者として死にかけているとしても、たとえあなたの親戚が死んでしまったとしても、信者なら、私たちには他の人が持っていない希望がある、ということ覚えていてください。それから彼はこう言っています。

14 …それならば、神はまたそのように、イエスにあって眠った人々をイエスといっしょに連れて来られるはずです。

(第一テサロニケ 4:14)

事実、キリストにあって死んだ人たちは、それがあなたのお子さんであっても、あなたのご両親であっても、あなたの兄弟姉妹でも、キリストにあるなら、彼らは実際、先によみがえるのです。聖書には、こうあります。

16 …それからキリストにある死者が、まず初めによみがえり、

17 次に、生き残っている私たちが、たちまち彼らといっしょに雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。…

(第一テサロニケ 4:16b~17a)

つまり、わたしが言いたいのは、もしあなたが生きていたら、あなたには、イエスと雲の中で会うという希望があります。もし、あなたが家族の中の信者の死を経験しているなら、私たちが持っている祝福された希望という保証に安住しましょう。聖書では、眠った人々と呼んでいますが、彼らはよみがえり、先に空中に到着するのです。それから、私たちが彼らと会い、空中で主と会うのです。私たちには、素晴らしい希望があります。中東で起こっていることのただ中であっても。中東だけでなく、ベトナムでは昨日、恐ろしい洪水で 100 人が亡くなりました。ニューデリーでは前代未聞の大気汚染で、毎日人が死んでいます。これは、昨日今日の話ですよ。世界中で人々が様々な自然現象で亡くなっています。私はローマ 8 章の特徴「被造物のうめき」だと解釈しています。ただ、私たちはこれら全ての事が起こるのを目にしているのですから、私たちは揺るがされないように…。聖書には、ヘブル人への手紙に書

かれています。私たちに与えられている希望について教える時、私が必ず引用する大好きな箇所です。ヘブル書には、この希望について、次のように書かれています。10章です。

19 こういうわけですから、兄弟たち。私たちは、イエスの血によって、大胆にまことの聖所に入ることができなのです。

(ヘブル 10:19)

次に、23節

23 約束された方は真実な方ですから、私たちは動揺しないで、しっかりと希望を告白しようではありませんか。

(ヘブル 10:23)

「動揺しないで、しっかりと希望を告白」するのです。言い換えれば、それは簡単ではなく、私たちはしっかりしなければならぬのです。それも、ただしっかりするだけでなく、私たちはそれを告白しなければなりません。

21 死と生は舌に支配される。

(箴言 18:21)

私たちはこれを覚えておかなければなりません。そして私たちは、告白しなければなりません。私たちは、主が来て、私たちを連れて行ってくださると信じているのです。だから私たちは、動揺せずにしっかりとしなければなりません。なぜかと言えば、世は私たちを鬱にさせようとしたり、失望や、恐れや不安など、様々な種を撒き散らします。そして、そういったことに簡単に沈み込んでしまうのです。しかし、聖書にはこうあります。世の強烈な磁力を認めて、そして、

23 約束された方は真実な方ですから、私たちは動揺しないで、しっかりと希望を告白しようではありませんか。

(ヘブル 10:23)

サタンは何も約束をしていません。彼が約束したとしても、それは空っぽです。彼はあなたを利用して、あなたを放り出し、あなたを捨てます。

神は、あなたを求めておられます。

神は、あなたを愛しておられます。

16 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

(ヨハネ 3:16)

そこで、その、私たちの信仰の告白、私たちの希望の告白をもって、私たちは自分に言い聞かせるのです。

「約束してくださった方は、真実な方。」

そして、私たちは覚えておかなければなりません。こう書かれていますから。

25 …かの日が近づいているのを見て、ますますそうしようではありませんか。

(ヘブル 10:25b)

私たちは、かの日が近づいているのを見ています。私たちの世代は、聞くだけでなく、かの日が近づいているのを見ています。私たちの世代は、イスラエルの帰還を見たのです。私たちの世代は、中東に関して、イスラエルに関して、多くの預言が成就するのを見ています。さらに、これから起こる事の準備も、です。私たちの世代は、かの日が近づいているのが見えるのです。だから、皆さん、元気を出してください。最後に祈りたいと思います。こちらは、今は安息日の終わりです。西側の国では土曜日、オーストラリア、アジアではもう、日曜日の朝ですね。皆さんを励ましたいと思いました。では、祈りましょう。

お父様、

私たちに祝福された希望を与えてくださって、感謝します。あなたは、私たちに動揺せずしっかりと希望を告白するようにと命じられました。この世がどれほど悲惨かを、あなたをご存知だからです。お父様、私たちは、神のさばきに定められていないことに感謝します。私たちは、これから来ようとしている試練の時から、取り去られます。お父様、私たちに場所を備えてくださり、ありがとうございます。そして、私たちを主のもとに迎えるために、もうすぐイエス様を送ってくださいます。彼のおられるところに、私たちをも居らせるためです。お父様、その時まであなたが、私たちの必要を与えてくださることに感謝します。私たちに必要な我慢と忍耐だけでなく、力と知恵と、それから私たちに残された、この地上での時間に、あなたの仕事に励む喜びを与えてくださり、感謝します。あなたが来られるまで、私たちは従事したいと思います。お父様、私たちに、城壁の見張り人としての責任があります。これから起こる事、現在起こっている事を知っています。私たちの責任は、良い知らせを伝え、悪い知らせを警告することです。どうか、私たちがそれをするための、力と勇気をお与えください。お父様、あなたに感謝し、あなたを祝福します。ガリラヤより、エルサレムより、ユダヤより、世界の四隅より、

これら全てを他にはない、最も美しい私たちの希望、私たちの贖い主、私たちの礎、私たちの主、救い主、真実であられる方、約束して下さった方、イエシュア、イエスの御名によってお祈りします。

アーメン。

アーメン！ありがとうございます。God bless you!

では、これから始まる週に向けて、アロンの祝福を。

皆さんの上に宣言しましょう。

	ヴェイシエメレハー		アドナーイ		イエヴァーレフハー	
	וְיִשְׁמְרֶךָ		יְהוָה		יְבָרְכֶךָ	
	..(主が)あなたを守られますように		主が		あなたを祝福し	
ヴィーフネツカー	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ		ヤーエール	
וְיִתְנֶךָ	אֶלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה		יָאֵר	
..(主が)あなたを恵まれますように	あなたに(向けて)	御顔を	主が		照らし	
シャーローム	レハー	ヴェヤーセーム	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	イッサー
שְׁלוֹם	לְךָ	וְיִשֶׁם	אֶלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יִשָּׂא
平安を	あなたに	(主が)賜るように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	上げて

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

- 24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
 25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
 26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

シャローム。あらゆる理解をはるかに超える平安。唯一、平和の君だけから来る平安、いつでもどこでも感じられる平安、広さや時間に制限されない平安です。

イエシュア、イエスの御名によって祈ります。
 アーメン。

ありがとうございます。ガリラヤより、God bless you! さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>